

4月 25日(土曜日)「ダビデ(16) 息子の謀反」

【新改訳 2017】

II サムエル記15・1－23

「そのとき、アブシャロムはイスラエルの全部族に、ひそかに使いを送って言った。『角笛の鳴るのを聞いたら、「アブロシャムがヘブロンで王になった」と言いなさい。』」(10節)

この書の13章から19章にわたって、ダビデ王の息子の1人であるアブシャロムの謀反のことが詳述されています。この日課でこれらの章全部を読むことはできません。ご自分でぜひお読みください。

残念なことに、ダビデの家庭は不幸な家庭になってしまいました。長男アムノンが異母妹を虐めたり、そのためにその実兄アブシャロムがアムノンを殺してしまったり……と(13章参照)大変な事件も起こってしまいました。そして今、息子が父の王位を自分のものにしようと反乱し、あの強力な王は都落ちしました。

なぜこんなことになったのでしょうか。結局アブシャロムは戦死し、ダビデはエルサレムに帰りました(18章参照)神はこのようなダビデを守り、用いられたのでした。

～祈り～

主よ。指導者の家庭をお守りください。特に子供たちの健全な成長を助け、神の国のみわざがもっと前進するように用いてください。

【学びのために】

アブシャロムはダビデ王の息子の一人(三男)。名前の意味は「平和の父」実際には、名前と全く反対に問題を次々と起こしました。父親である王に反逆し、その戦いで死にました。

箴言 19・26、20・20、28・24 参照